

みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育担当：酒井 俊巨
 電話：0584-73-1111 <内線212>

バックナンバーはこちら ⇒



安八町立登龍中学校 家庭教育学級

**コロナ禍の中、昨年からはまった在宅取組です。
 明確な活動のねらいを示し、取り組んでいます。**

家庭教育で教え、育むこと

基本的な生活習慣
 家族の大切さ 自立心



家族の食事を作ろう！【在宅取組型】夏休みを中心に、取り組める日に

ねらい

- ・家族と一緒に相談したり、調理したりすることで、ふれあいの時間をもてるようにする。
- ・日頃、食事を作ってくれる家族や食材への感謝の気持ちをもてるようにする。
- ・家族の食事を作ることで、調理への興味が広がり、達成感や自己肯定感をもちることができる。

取り組み表の呼びかけの言葉

毎日の食事を自分で作ってみませんか？家族と一緒に、もちろん一人でも大丈夫、一品だってかまいません。慣れている人は食事の栄養バランスを考えてみるのもいいですね。
 食事を作ることで家族への感謝の気持ちを伝えましょう。



PTA会員及び生徒の皆さん

令和3年10月吉日

安八町立登龍中学校
母親委員会

表

家庭教育学級「家族の食事を作ろう！」実践の紹介

夏休みに実践した家庭教育学級「家族の食事を作ろう！」へのご協力ありがとうございました。
 素敵な実践が本当に多くあり、一部をご紹介します。今後も家庭での食事作りと親子の触れ合いの機会がふえればと思います。

〈実践の紹介〉

深良南育中級 取り組み表

家族の食事を作ろう！

毎日の食事を自分で作ってみませんか？家族と一緒に、もちろん一人でも大丈夫、一品だってかまいません。慣れている人は食事の栄養バランスを考えてみるのもいいですね。毎日の食事を自分で作ってみませんか？家族と一緒に、もちろん一人でも大丈夫、一品だってかまいません。慣れている人は食事の栄養バランスを考えてみるのもいいですね。

実践：家族に一緒に作るお肉のハンバーグを作りました。

親子で食事を作るのが、親子の絆を深め、感謝の気持ちを伝えることができます。

感想：家族と一緒に作るお肉のハンバーグは、とてもおいしかったです。お肉の味もよく、野菜もたくさん入っていて、とてもおいしかったです。お肉の味もよく、野菜もたくさん入っていて、とてもおいしかったです。

安八町立登龍中学校 取り組み表

家族の食事を作ろう！

毎日の食事を自分で作ってみませんか？家族と一緒に、もちろん一人でも大丈夫、一品だってかまいません。慣れている人は食事の栄養バランスを考えてみるのもいいですね。毎日の食事を自分で作ってみませんか？家族と一緒に、もちろん一人でも大丈夫、一品だってかまいません。慣れている人は食事の栄養バランスを考えてみるのもいいですね。

実践：お肉のハンバーグを作りました。

親子で食事を作るのが、親子の絆を深め、感謝の気持ちを伝えることができます。

感想：家族と一緒に作るお肉のハンバーグは、とてもおいしかったです。お肉の味もよく、野菜もたくさん入っていて、とてもおいしかったです。お肉の味もよく、野菜もたくさん入っていて、とてもおいしかったです。

〈感想紹介〉

裏

（生徒）

- ・久しぶりに家族のご飯を作りました。やっぱり自分で作ったご飯はいつもより肉でハンバーグを作ってみました。とても上手においしく出来ました。（1年女子）
- ・私とお母さんと相談しながら調理ができてとても楽しかったし、いつものお母さんを通して伝えることができたので良かったです。（1年女子）
- ・母と一緒に楽しく食事を作れたので嬉しかったです。家族との時間をつくれこれからは積極的に手伝って母の役に立ち、たくさんのお飯を作れるように。（2年女子）
- ・上手に包丁を使って野菜を切ることが出来ました。また、バランスを考えて料理が良かったです。料理をする母の大変さも分かったので良かったです。（2年男子）
- ・材料の準備から片付けまでやると、とても疲れることが分かりました。これからはできるようにしたいです。（3年男子）
- ・自分のおいしく作れたと思いました。味噌汁の味噌は手作りなので健康面から母の料理の手伝いをしていきます。（3年女子）

（保護者）

- ・野菜を細かく切るところ、肉をよく混ぜるところなど丁寧にやってくれました。とてもおいしい餃子とスープを食べることができました。もう覚えね？楽しみにしています。
- ・包丁を使う手が危なくて見ていられて良かったです。でもたまに一緒に料理をずんずんがとれました。
- ・一人より二人で作ると楽しいね。また時間がある時は手伝ってね。一人で作れうしてね。
- ・包丁で指を切らないか、炒める時にやけどしないか、ハラハラしながら見守り料理はできた方がいいので、簡単にできるパスタくらいは覚えてほしいです。
- ・愛嬌生で大変だと思いますが、たまには気分転換で料理をしてみてください。準備から洗い物まで行って来て段取りも良かったです。包丁の使い方が上手

けがややけどをしないかという母親の心配、一緒に調理できる喜び、お互いに対する感謝の言葉など、温かい感想がまごめられています。

生徒：食事はよく作りますが、改めて思うことは、栄養バランスを考えて作るのは、私にとって難しく、時間がかかるということです。今日はおいしいを目当てに作ったけれど、バランスを考えながら作るのも速いお母さんはすごいと感じます。
 保護者：夏休み中に作れるレパートリーが増えて助かりました。冷蔵庫の残りの食材を使って、ご飯作りができるようになり、さすが中学生だなと思いました。いつもありがとう😊



大垣市立荒崎幼保園 家庭教育学級

【在宅取組型】 **在宅取組の内容を変えて続けています。**



「親子スキンシップ週間」: 7月6日(火)~12日(月)

「親子で『オリジナルマスクケース』作り」: 夏季休業中

「親子でおにぎり作り」: 10月5日(火)~11日(月)

家庭教育で教え、育むこと

基本的な生活習慣

家族の大切さ

社会のルール



チェック表

組 名前

7/6(火)	7/7(水)	7/8(木)	7/9(金)	7/10(土)	7/11(日)	7/12(月)

※スキンシップができれば、好きな色を塗ってください。

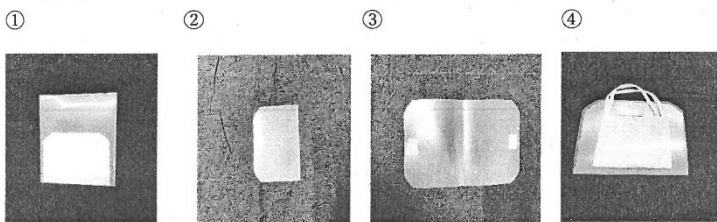
4. 親子スキンシップ週間を終えて子どもの様子や感想を書いてください。

毎日、子どもとハグをすると、子どもも私も穏やかな気持ちになるので、これからも続けていきたいです。

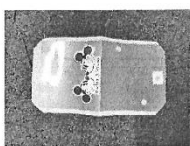
「もう、仕方ないなあ」と言いながら、まんざらでもない顔でハグをしてくれる姿が、とても可愛かったです。

ハグや抱っこをすると、とても笑顔になります。こっちまでうれしくなります。

4. 作り方



⑤ 作成の説明動画は下記QRコードよりご覧ください



※2週間で消去しますのでご注意ください

園には、外国籍のお子さんが2割ほどみえるので、YouTubeでマスクケースの作り方を配信したり、図を掲載したりして、誰でも分かるように工夫しています。

クリアファイル、マジックテープ、シールなどの材料を配りました。



手洗いの方法

さあ、みんなて手をあらおう!!



おにぎりの作り方例



海津市立吉里小学校 家庭教育学級

保護者に知ってほしい内容を直接保護者に伝えたい！**保護者対象「情報モラル」研修**

11月6日(土)

10:00~11:00

【講演会型】

家庭教育で教え、育むこと

自制心

善悪の判断

命の大切さ

社会のルール



コロナ禍でスマホやゲームによるトラブルは増え続けています。

今まで親子で情報モラルの講話を聞くことは、家庭教育学級の定番でした。現在は、コロナ対策として、児童生徒に対しては、放送室から講師が話を配信し、教室で講話を聞くなどの形態で行われていますが、保護者は学校に入れなため、保護者が話を聞く機会は少なくなっています。

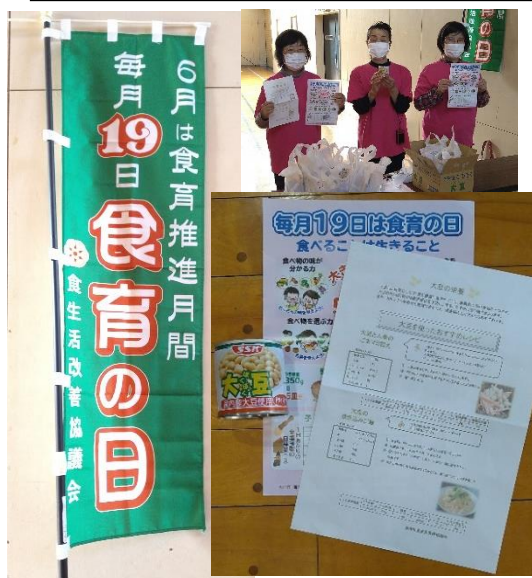
吉里小学校では、児童と保護者が接触しないように、直接体育館入口に受付を設置し、会場は密を避けて、保護者だけを対象とした「情報モラル研修」を行いました。

【講師】 KDDI スマホ・ケータイ安全教室
認定講師 高木 忠義 様

学校や子どもたちは知っていても、保護者は知らないことがあります。子どもたちの世界で何か起きているかを知ってもらう保護者対象の情報モラルの学習はとても大事です。



受付でチラシ・レシピ・缶詰を配る
海津市食生活改善協議会の皆さん



「これまで、親子調理を通して食生活の改善を啓発してきましたが、コロナ禍でその場がなくなりました。今回、教頭先生から保護者の方が集まることをお聞きし、大豆の缶詰と大豆を使ったおすすめレシピを配りました。栄養のある大豆を使って、親子で調理してみてください。(海津市食生活改善協議会の皆さん)」



保護者が集まる機会を有効に生かしています。

研修会前には、PTAの資源回収を体育館前でいたしました。研修会後は、授業を終えて運動場で待っていたわが子を迎えに行き、一緒に通学路を歩き、危険箇所を確認しながら親子で下校しました。

神戸町四園 家庭教育学級

コロナ蔓延で会場開催ができなかったため、
動画配信に変更して実施しました

四園保護者会研修会

家庭教育で教え、育むこと

自立心
思いやり

家族の大切さ

【在宅取組型】9月

毎年、神戸幼児園・下宮幼児園・南平野幼児園・北幼児園の四園の保護者会は、合同で研修会を計画しています。講師を招き、日程を調整して、園ごとに「講演会型」で行っています。コロナ感染者が多くなったため、会場開催ができなくなりましたが、中止にはせず、「動画配信による在宅取組型」として実施しました。保護者の学びの機会を大事にしていることがすばらしいですね。

令和3年度神戸町四園保護者会研修会

初秋を迎え、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また日頃は、幼児園の保護者会活動に温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さてこの度、四園保護者会では保護者向けに「親と子のかかわりの糸を結ぶ」をテーマに研修会を行うこととなりました。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「在宅型」研修会とさせていただきます。ご多用とは存じますが、ぜひご視聴くださいますようお願い致します。

記

〈視聴方法〉

- ※ Wi-Fi環境でご覧ください。
- ※ パソコンはURLアドレス、スマホ・タブレットはQRコードでご覧ください。
- ※ ご覧いただける期間は、9月1日～9月30日までです。

URL アドレス: <https://youtu.be/Q8g3QCQmV0w>

神戸町四園保護者会研修会
「親と子のかかわりの糸を結ぶ。」
西濃県事務所 家庭教育推進専門職
酒井 俊臣
YouTube 限定配信 (約2.6分)



親と子のかかわりの糸を結ぶ。

「仕事が忙しく、子育てに十分時間をかけられない。」「毎日、生活するだけで精一杯で…」

確かに、「子育て」と動き盛りの時期は重なり、毎日毎日時間はあっという間に過ぎていくのが現実です。しかも、ネット環境の発達やスマートフォンの普及により、幼児の時から、YouTube視聴やゲームをする時間が多くなっています。また、保護者の皆様も同様にスマートフォンでメールやラインをチェックすることが多くなり、そのことによって親子のかかわりが少なくなっています。

子どもは乳児から青年期の間に、驚くほどのスピードで体と心を成長させていきます。そして、この時期に「大人から適切な支援・援助がある子ども」とそうでない子どもとは、親子の愛着形成や自己肯定感など心の成長の度合いに大きな差が表れてきます。

今回の研修では、子どもたちの自己肯定感を高めるために、どんな対応が必要か、どのような言葉かけが伝わりやすいのか考えます。



【研修のテーマ】		83%					
4園合計	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	
	54%	29%	12%	0%	0%	5%	

【研修の内容】		90%					
4園合計	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	
	58%	32%	8%	1%	0%	1%	

【視聴者の感想】

- ・ 主人と一緒に見るのができたので、とても良かった。話し合いをしながら動画を見て、講師の先生のお考えを深く知ることができたと思います。
- ・ 動画視聴だったので、時間のある時に見られてよかったです。日々忙しく疲れている中での子どもの関わりなので、頭ではわかっていてもできないことが多いですし、このような動画視聴がたまにでもあると、自分を振り返る機会になって良かったです。
- ・ 子どもへの伝え方、言い方をわかり易く学べて参考になりました。
- ・ 実例を交えてお話していただき、ずっと自分の中に入ってきました。
- ・ 内容が具体的で、時間も長すぎず多くの学びが詰まっていました。
- ・ 動画を見て実行したところ、子どもの様子が穏やかになりました。
- ・ 生涯で子どもと一緒に過ごせる時間は思っている以上に短いことを知り、今の時間を大切にしたいと思いました。
- ・ 子どもへの接し方が苦手で、子どもに寄り添えなくて、自分の感情を押し付けてしまっていたけれど、動画を見てどのように接したらいいのかをたくさん学び、実行していきたいと思いました。
- ・ 子どもが「〇〇をするのがイヤだ、〇〇に行きたくない」と言ったときに、子どもの気持ちを理解しようと、「どうして?なんでかな?」と聞いてしまいますが、まずは共感してあげることが大事なんだとわかりました。
- ・ 子どもが生まれたばかりの時は、ただ健康であればよいと思っていたけれど、成長するにつれてあれこれ子どもに求めすぎていたかもと感じました。「正解」ではなく「納得解」:納得できる答えということが心に響きました。「わたしメッセージ」が日頃少なかったと感じたので、使えるようにしたいと思います。
- ・ 自分の体調によって、とても攻撃的に言葉を発してしまうことがあり、それを子どもたちがどのように受け止めていたのかあまり考えたこともなかったけれど、言葉の重みはとても厳しいものだなと考えさせられました。
- ・ 日々、どうしても子どもに対して「ダメだよ」とか「ちょっと待って」と言って、子どもの話を聴いてあげず、ゆっくりと向き合えていなかったなど反省する点が多かったです。視聴して、すぐダメと言わず、なぜダメなのかを説明し、かつ話を聴く時間を作り、子どもと良い関係づくりをしていこうと思いました。
- ・ 共感することの大切さ、話をしっかり聴くこと、肯定をすることの大切さを改めて学び、少し自信になりました。



YouTube 限定配信で
279回
視聴していただきました。